

Voice 声

貧しき高齢者に生活保護を

病院職員

(高知市 55)

生活保護受給者へのバッシングが続く中、安倍政権は保護費を引き下げる方針です。

しかし、本当に必要なことでしようか。不正受給は問題ですが全体の2%弱で、ほとんどの方は本当に困って生活保護費を受給しているのです。

私の職場には、栄養失調やけがをした高齢者が毎月数人、入院されます。身寄りがなく独居の方が主です。昨夏、救急車で運ばれた70代の男性もかなりやせ、栄養失調でした。ご夫婦2人暮らしでしたが、「食べるものがなく、妻は弱って亡くなった」といっていました。

この日本で、栄養失調なのです。数年前から高齢者のこうしたケースが増えました。私は、生活保護費を受給すべきなのに受給できていない方が多くいると感じています。

安倍政権の方針に賛同する国会議員は多いようですが、生活保護費より政党助成金をまず削減すべきではないでしょうか。助成金がなくても以前は政党活動をしていたはずですが、助成金をもらうようになってもパーティー券などの名目で献金も受け取っています。また国会議員の資産公開を見ると、多くが何千万円、中には億を超える資産を持っています。貧しき者の生活保護費を削らないで下さい。